

表紙イラスト 菅原 睦子さん

150万人のボランティア

何の数字だと思われませんか？全国で150万人。宮城県内で3万人。答えは、現在の18才人口の概数です。

教育改革国民会議の中間報告案に盛り込まれた「将来的に満18才の国民すべてに1年間の奉仕活動を義務付けて高齢者介護などに当たらせる」が現実化すると、宮城県内だけでも3万人の義務をおったボランティアが発生します。この問題では、徴兵制の復活をいぶかる声、義務化されたボランティアがあり得るのか、なぜ18才なのか、生活保障はどうするのかなど様々な反発の声が上がっています。

そもそも、国民会議のメンバーがNPOや市民活動、介護などに関わったことがあるのか、現場を本当に理解しているのかという疑問すら湧いてきます。

ボランティア活動などを行っている方は承知でしょうが、自発の意志があり熱い思いをもったボランティアでも、現場で生かすためには、初期教育から現場指導などの育成作業、ボランティア需要に合わせて人を派遣するマッチング作業、突発的な事故などへの対応を行うボランティア・コーディネーターの役割が重要です。ボランティア・コーディネートが上手くいかないと、集まったボランティアは烏合の集団と化してしまいます。

さて、150万人や3万人の義務的ボランティアを使える人材としていくために何人のコーディネーターが必要なのでしょうか？

私は、その答えを持っていません。

少なくとも言えることは、第一に国民会議のメンバーが現場で汗を流し、己の愚かさを実感することです。

第二に、少なくとも公務員に1年間のボランティア休暇を認め、現場に送り込み、将来のボランティア・コーディネーターを育てることです。その施策が、愚かにも通った時のために。

せんだい・みやぎNPOセンター理事 黒澤 学

内容

介護系NPOパワーアップセミナー、通常総会報告
DCsについて、NPO優遇税制に向けて、私のNPO体験記
部会報告、宮城県地元企業のNPO意識調査報告書
東北リレートーク、本、事務局活動報告、催事案内
会員の方へ、みんな歳時記 ほか

第1弾は9/15-16から！第2弾 11/10-11、第3弾 2/2-3

介護系NPOをサポートする講座を開催！

まもなく開催！「介護系NPOパワーアップセミナー」

代表理事 加藤 哲夫

組織経営に対して関心が高まっている

この2月・3月に開催した「NPOマネジメント実践講座」、4月に2回連続して開催した「NPOの会計・税務のための実践集中講座」、そして7月に開催した「一日集中・NPO実践講座／NPOの活動力をアップする3つの方法」のいずれも多くの皆様のご参加をいただき、組織経営に対する関心の高まりを実感いたしました。それは8月11日現在、2381の認証数（2983の受理数）のNPO法人が社会に登場したインパクトの表れでもあるでしょう。去る8月31日につくば市で開催された、小生が講師を務める一日集中ワークショップは、参加費1万円、平日の日中という条件にもかかわらず30人の申し込みがありましたから、この関心の高まりは全国的な傾向といえましょう。

そこでせんだい・みやぎNPOセンターでは、2000年度の事業計画の中で、NPOのマネジメント研修関連の講座開催を重要事業と位置付けて力を入れていく予定です。その第一弾が、9月15日・16日に開催する「介護系NPOパワーアップセミナー」の第一シリーズです。この講座は、住友生命社会福祉事業団、日本NPOセンターの支援により、当センターも共催して開催する事業です。第二シリーズは11月、第三シリーズは来年の2月に開催します。

4月からスタートした介護保険は、各地の介護福祉系NPOに大きな変化をもたらしました。そして組織としての意思決定システムの整備や財源確保、人のマネジメントなどさまざまな課題が浮かび上がってきています。

また、地域によってはダンピング競争が始まっているという話もあり、情報不足から他団体の情報を知りたいという声も聞こえてきます。

そこで「介護系NPOパワーアップセミナー」では、NPOが必要な経営力をアップするために、全国的な講師陣を用意し、焦点を絞った連続講座を企画いたしました。費用も住友生命社会福祉事業団の援助で3000円の資料代のみという破格の値段です。また、第一シリーズの講師陣は、いずれも全国的に有名でかつ第一線で活躍中の方々です。全国的なレベルでの大局的なお話をいただけるものと思っています。

対象地域としては東北全域を、対象者としては介護事業を推進するNPOのスタッフや新たに介護事業の推進を考える団体・個人を考えております。他地域の団体との交流という面での効果もご期待ください。

環境、まちづくり、福祉系を特に重点に

当センターが今後サポートに力を入れていくNPO活動の分野としては、環境、まちづくり、それに福祉系を特に重点と考えています。今回のセミナーの他、さまざまな相談や問い合わせに対応していくとともに、情報の蓄積や相談対応力の育成に努めたいと考えています。その一環として、日本NPOセンターの「介護保険研究会」に参加し、介護保険導入に伴う介護系NPOの今後の活動促進に関する研究と調査を行っています。成果をお届けできるようになったらご紹介します。

第2回通常総会・記念講演会へのご出席、 ありがとうございました。

「NPO法人への税制優遇措置実現」のためのシーズへの寄付 34,089円 集まる

さる9月10日(日)仙台市戦災復興記念館にて、当センターの第2回通常総会が開催されました。黒澤理事の司会で、まず議長の選任を行い、代表理事の大滝精一さんに議長をお願いしました。はじめに、総会成立の確認を行い、引き続き議事録署名人として渡辺祥子さんと太齋寛さんを選任しました。

今総会では、任意団体と法人としての当センターを合わせて報告。1999年度の事業報告および収支決算が、続いて2000年度事業計画案および収支予算案が承認されました。

総会最後には、NPO法人への税制優遇措置実現のための寄付を呼びかけた結果、34,089円が集まりました。ご協力感謝いたします。

続く記念講演会では、林雄二郎氏(日本NPO学会会長、(社)日本フィランソロピー協会顧問)が「21世紀日本におけるNPOの使命」をテーマに講演を行い好評を得ました。

●理事

石田春子(WACまごころサービス)、大滝精一/代表理事(東北大学大学院経済学研究科教授)、加藤哲夫/代表理事・常務理事、川村志厚(経営デザイン研究所)、木村正樹(宮城県青年海外協力隊を支援する会)、黒澤学(仙台NPO研究会)、新川達郎(水環境ネット東北、同志社大学大学院総合政策科学研究科教授)、針生英一(針生印刷株式会社) *新任、兵藤博行(高清水ソフトウェアカンパニー) 紅邑晶子/常務理事・事務局長、八木充幸(仙台は

なもく七三会) 山田晴義(岩手県立大学総合政策学部教授) 横須賀和江/代表理事(環境保全米ネットワーク)

●監事(五十音順、敬称略。定員2名) 小島妙子(弁護士)/長谷川公一(東北大学大学院文学研究科教授)

●評議員(五十音順、敬称略。定員40名以内23名決定、9名交渉中。9月9日現在) 秋田靖博(東北経済連合会産業経済部)/浅見紀夫(株式会社ノ威代表取締役) 板垣幸寿(石の梅まちづくり創造研究所代表)/大久保朝江(社の伝言板ゆるる代表)/大村慶一(東北大学大学院工学研究科教授/博士)/川北秀人(人と組織と地球のための国際研究所 I I H O E 代表)/木村孝(特定非営利活動法人不忘アザレア事務局長)/木村美保子(石巻青年会議所)/今 隆(特定非営利活動法人 あおもりNPOサポートセンター副理事長)/齊藤美和子(地域・国際貢献サークルフォーラム代表)/鈴木素雄(河北新報社報道部副部長)/世古一穂(特定非営利活動法人 NPO 研修・情報センター代表)/高橋確(協同組合 日専連理事長)/高橋哲夫(東北電力宮城支店営業・配電部広報課長)/高橋敏彦(特定非営利活動法人 いわてNPO-NE Tサポート)/田村武暢(宮城県社会福祉協議会 みやぎボランティア総合センター副所長)/千葉哲泰(N T T 東日本総務部総務担当課長)/中村祥子(特定非営利活動法人 グループゆう代表) 日向剛子(国際交流団体 グループ社代表)/藤井敦史(東北大学経済学部助教授)/藤田佐和子(特定非営利活動法人あかねグループ代表)/山岡義典(特定非営利活動法人 日本NPOセンター常務理事・事務局長)/山岸秀雄(NPOサポートセンター代表)/吉原直樹(東北大学文学部教授)/渡辺祥子(特定非営利活動法人 グループゆう~あんどあい代表) ○以下、交渉中。(仙台市)(仙台市社会福祉協議会)(仙台商工会議所)(みやぎ生協)(みやぎ県子ども劇場おやこ劇場)(宮城県)(あきたNPOセンター)(ふくしまNPOネットワークセンター)

DC s 地域情報化推進センター設立について

7月17日(月)に東京で「特定非営利活動法人DC s 地域情報化推進センター」が設立された。当センターから加藤が理事として参加しているため、その経緯を簡単に報告しておきたい。昨年秋頃から東京に拠点を置く、デジタルコミュニティズ(DC s)推進協議会設立準備会事務局から誘いがあって、今年の2月から東京で、全国のNPOセンター、サポートセンターを名乗る地方組織が20ほど集まって、全国的な情報ネットワークの構築等について話し合いを続けてきた(NPOパートナーシップ情報センター構想推進委員会)。DC sは、1996年に開かれた国際シンポジウム「Digital Communities Forum '96」をきっかけに発足した地域からの情報革命推進の運動体で、有馬朗人氏(参議院議員)が委員長、北川正恭氏(三重県知事)が副委員長。話し合いの結果、任意団体のDC sの一部がNPO法人化し、NPOパートナーシップ情報センター推進委員会と提携して、情報ネットワークの構築と地域情報化リテラシー促進事業等を行なっていくことになった。申請中のNPO法人の理事長は有馬朗人氏、副理事長荒井広幸氏、理事に北川正恭氏等で、加藤も全国20ヶ所のサポートセンターの代表として理事になっている。設立時の記者会見で、北川氏の「IT革命は、決して世界のエコノミーに乗り遅れるなどということではない。世界のデモクラシーに乗り遅れるなどということである」という言葉が印象的だった。当センターとしては、情報ネットワークの構築で連携し、地域情報化リテラシー促進事業で、IT(情報技術)を駆使した地域づくりのプロデューサーやNPOへの情報化支援人材の育成事業で協働する予定である。(加藤哲夫)

税・法人制度連絡会・・・NPO優遇税制に向けて

大蔵省を、経済企画庁を、国会議員を動かすのはNPOです

NPO法の付則および国会決議では、今年の11月末までに税制などNPO法の改正を検討、来年11月末までに必要な措置を講じることになっています。そこで、この秋(9月～10月)は、法律のスケジュール上しっかりとした検討が行なわれなければ、NPO法人をサポートする税制支援措置が実現できないということになってしまいます。

当センターも参加している「NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会」では、7月から8月にかけて「NPO法人の活動報告情報収集」を実施しました。当センターでもいくつかの団体に御協力をいただき、

その結果、全国からは100団体ほどの情報が集まりました。この連絡会では、9月～11月の3ヶ月をNPO法人に関する税制支援獲得キャンペーン期間として、全国的な運動を展開することになっており、当センターでも5月の税・法人制度改革緊急シンポジウムを受けて、何らかの動きを生み出していく予定です。

また、シーズ＝市民活動を支える制度をつくる会では、NPO法人への税制優遇措置実現のため、別紙にありますような全国のNPO法人への緊急調査、NPO議員連盟の地域NPOフォーラム開催のサポートを実施することになりました。このこ

とを実施するにあたっては、およそ400万円程度の資金調達が必要で、この制度を望む団体からの支援をいただきたいとのメッセージが届いています。

せんだい・みやぎNPOセンターとしては、まず地域のNPO法人を始め、企業・行政・市民のNPO法人へ税制支援措置を求める声を獲得しつつ、連絡会やシーズと協力して本当の意味の市民社会を実現に向けて活動を展開していく予定です。

(紅邑 晶子)



私のNPO体験記

NPOセンタースタッフが感じ・体験した様々なNPOについてレポートします。

vol.4 田中 聡子

大学一年の終わりの春、私はネパールへ飛んでいた。「仙台学生センター」というところに通っていた私は、そこで毎年行われている「南アジアを訪ねる出会いの旅」に参加したのである。目的は「小さなマザーテレサさん」と形容されるようなNGOワーカーとの出会い、そして現地の方々との交流だ。

現地では、日本のNGOから派遣されている医師に会った。彼曰く「大きな湖の水を小さなバケツでくみ出すようだ」というネパールの医療は、医者、薬、医療器具などの不足もあり、とても厳しい状況にあった。しかし、その過酷な医療現場の中で、彼はネパール人から多くのことを学んだという。あるネパール人は、近所の子どもが病気になるのを見て、何日も掛けて病院までつれてきたそうだ。そのような「純粹に他人を思いやるネパール心」に、「人は支えられて生きていくのだ」ということを感じたという。私もその話を聞いて、ネパールの人を思いやる精神をとてもらうやましく感じ、同時に、今の日本はそういうことができる社会だろうか、と、それまで自分が考えないようなことを、ふと考えたのだった。

その他にもいろいろな出会いを体験したこの旅をきっかけとして、私はアジア、日本、東北、宮城というように、自分の足元である地域に目が行くようになった。また、そこで人が幸せに、共に生きるために努めている、行動している人達との出会いを楽しみに、仕事をする毎日である。

部会報告

今回は「パソコン・インターネットの活用法」をテーマに、2000年7月17日(月)、市民活動サポートセンターにて開催されました。

今回は、参加者が多く、はじめての参加者も6名ほどあり、このテーマへの関心が高いことがわかった。また、パソコン・インターネットを活用して事業を展開しようとしている学生の方から貴重なお話を聞くことができました。

第45回セナードサロン報告
テーマ「パソコン・インターネットの活用法」
担当：安国起世

まず、今回の参加者は、全員パソコンを持っていてEメールアドレスも持っている、ある程度パソコンを使っている人だということがわかりました。そこで、具体的に疑問や知りたいことを出し合い、お互いに情報交換。話し合いから出たポイントを以下にまとめてみました。(一部)

- ・ インターネットで何がしたいのか「目的」をはっきりと持つこと。そして、どう活用したいのか活用の仕方、組織内での役割分担を明確にすること。
- ・ 基本的に、技術は人と人とをつなぐもの。HPを作ったからといって会員が増えるわけではない。
- ・ 自分の活動をいろんな人に理解してもらうためには、「情報公開」が不可欠である。HPはその広場として共感を得ることができるところ。

□次回「企業とのつきあい方」10月16日(月)
 19時～、仙台市市民活動サポートセンターにて

毎月1回のペースで活動を続けてまいりました通称CCFサロン(企業市民フォーラム：コーポレートシティズンシップフォーラム)は、この6月で一旦休会となり、7月から隔月1回の「PONPO-NET」として新たな活動を始めました。この会は、NPOにとっての企業との連携についてNPOを中心に企業市民の方も参加しながら研究と意見交換を行なうものです。

CCFサロンでは、宮城県の地元企業の社会貢献調査を行ないましたが、これを受けて、一つは企業同志で企業の持つ資源をNPOとの連携にどの王に生かすことが出来るか、そのメリットについての研究会「サポート資源開発プロジェクト研究会」が誕生しました。

「NPOが考える企業との連携のあり方を研究：PONPO-NET誕生」
担当：紅邑晶子

そこで、NPOの側からも同じテーマで研究をしてみようということになり、「PONPO-NET」が誕生しました。この会は、来年5月までの1年間限定のプロジェクトです。参加者は、NPO関係者と企業市民の方々。その成果は、議事録に記録し、ホームページなどで会員の皆様にもお知らせしてまいります。お問い合わせは、紅邑まで。□次回 11月9日(木)18時30分～

東北エニコム7階会議室にて

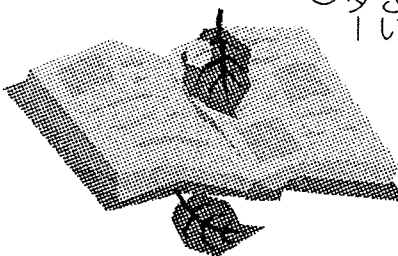
絶賛発売中！宮城県地元企業のNPO意識調査・報告書

NPOが企業と連携するためのデータとしてもご利用下さい！

「宮城県地元企業のNPO意識調査」の報告書が7月に完成、ただ今当センターにて絶賛発売中です。この報告書は、CCFサロン参加者が結成したワーキンググループで行った調査内容とデータ集計結果をまとめたものです。企業ヒアリングの際は、たくさんの方のNPO・企業の方、大学生にご協力いただきました。

「NPOが企業と連携するためのコツ」がわかる報告書として、宮城県内のNPOはもちろん全国のNPO関係者・企業の方々からのご注文をお待ちしております。当センターではこの結果を踏まえ、今後、中間支援組織としてNPOと企業の連携のためのシステムづくり役に役立てていきたいと考え、「サポート資源開発プロジェクト」もスタートさせています。こちらに関心をお持ちの企業の方お問い合わせください

■販売所・当センター
 ■価格 500円(税込)



東北リレートーク

岩手県 沢内村 西和賀文化遺産伝承協会（西文協）

このNPOの名前はとていかめしい名前でしょ？この名前はある女性の「名前はいかめしくしておいた方が信用が高まっていいわよ」という適切(?)なアドバイスに従ってついたものです。

西文協は「川舟の家」という茅葺きの古民家の保存をきっかけにできました。盛岡から北上に抜ける県道一号線から見える、家と納屋と庭と畑、これらは知る人ぞ知る素晴らしいランドマークなのです。

第1幕、この家は1996年の2月に壊される運命にあったのです。そのことを知った人たちが涙ぐましい努力の結果、ついに400万円の募金が集まり、この家が残り雨漏りを止めることができたのです。

第2幕、この家がとりあえず残ったのはよかったのですが、新たな問題として、どうやって維持していけばいいのか。一生懸命考えたその結論は「家一軒を保存するより村全体の保存を考えよう」でした。さっそく「沢内村丸ごと自然公園構想」を発表しました。13カ所の茅葺き民家の拠点をサイクリングコースで結ぶ構想でした。これが意外と好評で、こ

のきっかけで「西文協」に発展していったのです。

西和賀というのは、奥羽山脈の中を流れる清流（和賀川）の両側に開けた沢内村と湯田町のことで、私たちは、里地の残るこの地で、自然と共生して生きてきた、自然循環型の文化、ゼロミッション文化を後生に伝えようと活動しています。

おじいちゃん、おばあちゃんに昔の話を聞いたり、お料理を教えてもらったり、炭窯づくり、わら製品づくり、民話の保存伝承と、とても忙しいのです。なぜって、時間があまりないのです。昔の文化を知る人がどんどんいなくなっていくのです。

西和賀の美しい自然と貴重な文化を隔月に機関誌（9月に4号発行）に載せて発行しています。年間2,000円です。購読してください。

（事務局長 広瀬龍一）

【特定非営利活動法人西和賀文化遺産伝承協会】

〒029-5615 岩手県和賀郡沢内村猿橋19-25

電話/FAX 0197-85-2846

郵便振替番号 西和賀文化遺産伝承協会

02280 9 55337

E-mail:nagaseno@seagreen.ocn.ne.jp

http://www1.ocn.ne.jp/~r-hirose

BOOK

サンフランシスコ発 社会変革NPO

岡部一明 著

御茶ノ水書房 2600円

アメリカ大陸の地図を見ると、北米大陸の西海岸、地図では左側の海岸にカリフォルニアを見つめることができる。ここでは様々なカウンターカルチャーの発信源となり、地図上の位置と左翼的な社会文化からレフトコーストと呼ばれる。

本書は、そのレフトコーストの社会を担うNPOの詳細な活動事例集であり、わが国のNPOインフラ強化に向けた提言書でもある。「社会変革財団」と呼ばれるタイス財団バイク会長のインタビューから始まり、サンフランシスコを中心に活動する様々なNPO（ベイ・キーパー、eグラント・オーグ、コンピュメンターなど）の日常的活動が、著者の丁寧なインタビューによって誌面に再現され、読者にその活動が社会形成の担い手となるプロセスが克明に描かれている。

それと同時に、本書において特徴的なのは、それに向き合う行政の仕事と企業活動についても詳細な取材がなされ、現場の

担当者のコメントをつなげて行くことで、官と民、官と企業のパートナーシップのあるべき姿を浮上させていることである。著者は本書の最後において、NPOと行政・企業の活動を社会的な視線で整理し、NPOを「公権利公共」と位置づけ、直接的民主主義型の公共原理と断言している。

ゆえに、そこには、NPOには結果として社会変革の主体としての役割が求められる。これは、日本に根強く残る「奉仕活動」の延長としてのNPO観に決定的な転換を求めるものであり、同時に、国内のNPO関係者に不足している意識でもある。今、日本ではNPOが地域活性化の切り札としてもはややされているが、しかし、それが中央集権的な官僚制的公共を変えらるものでなければ、地域社会に何の解決ももたらさない。そのことを、本書はアメリカNPOの現場の活力を持って教えてくれる。

上藤 寛之

事務局活動報告 6/24~8/11

活動
報告

■センター・事務局関連

- ・市民活動サポートセンター休館日・スタッフ研修 (6/28・7/26)
- ・GCFサロン (6/28 紅邑・中津)
- ・みんなん発送作業 (6/30)
- ・事務局会議 (7/4・24・31 加藤・紅邑・遠藤・青木 7/18 加藤・紅邑・遠藤・小浜・青木 8/8 加藤・紅邑・遠藤・小浜・工藤・青木)
- ・サポート資源開発プロジェクト事務局会議 (7/4・8/4 加藤・紅邑・遠藤・高田・内海・青木 7/6 加藤・藤井・高田 7/18 紅邑・浦沢)
- ・市民活動サポートセンター全体ミーティング (7/5・12・19・8/2・9)
- ・市民活動サポートセンター1周年記念イベント (7/8 加藤)
- ・一日集中・NPO実践講座「NPOの活動力をアップする3つの方法」講師：川北秀人氏 (7/9 紅邑・青木)
- ・センターサロン「パソコン・インターネットの活用」/センターサロン部会 (7/17 紅邑・遠藤・安国)
- ・サポート資源開発プロジェクト 第3回研究会/東北経済連合会会議室 (7/19)
- ・「緊急！市民学習会 市民でつくろう！ごみ減量先進都市」主催：当センター、仙台市、RNECS 講師：萩原喜之（中部リサイクル市民運動の会代表）(7/19)
- ・特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター理事会（第12回 7/21・第13回 8/11）
- ・PONPOネット会議 (7/25 紅邑・中津)
- ・PONPOネット/企業フィナンソロビー部会 (7/27 紅邑・中津)
- ・ホームページ会議 (7/26 加藤・紅邑・高田)
- ・NPO法人化講座 (7/26 紅邑・工藤・青木)
- ・事務所レイアウト替え (8/10)

■NPO関連・他

- ・「仙台泉地域：自発する学びの場」/宮城大学事業構想学部半田研究室 NeoALEX社会構想研究院 (6/24 紅邑)
- ・リデュース・ハーフ呼びかけ人会 (6/25)
- ・デジタルコミュニティズ会議/東京 (6/27・7/17 加藤)
- ・宮城県共同募金会 (6/28 紅邑)
- ・NPOフォーラム2000中国・四国会議/主催：日本NPOセンター、ひろしまNPOセンター、実行委員会 (7/1-2 加藤・紅邑・遠藤・青木)
- ・コミュニティ・サポートセンター神戸、市民活動センター・神戸研修見学 (7/3 紅邑・遠藤・青木)
- ・河北新報社「記者研修」講師：紅邑 (7/5 紅邑)
- ・赤い羽根全国フォーラム in みやぎ/主催：宮城県共同募金会、宮城県社会福祉協議会、他 (7/13 加藤・紅邑)
- ・全国ボランティア集会運営委員会/主催：日本青年奉仕協会 (7/14-16 加藤)
- ・NPO講演会&車座トーク 講師：加藤/主催：市民活動ネットワーク和歌山、和歌山大学地域協同研究センター、和歌山大学生涯学修教育研究センター (7/16 加藤)
- ・宮城県社会福祉協議会運営委員会 (7/18 加藤)
- ・泉青年会議所7月例会「つなげよう市民活動」講演 (7/19 加藤)
- ・NPOマネジメント連続講座/特定非営利活動法人とちぎボランティア情報ネットワーク (7/30 紅邑)
- ・まちづくり研究会 (8/2 紅邑)
- ・「全国NPO文化祭」NPO法人上田広域市民事業ネットワーク設立記念事業/特定非営利活動法人上田広域市民事業ネットワークNPOシンポジウム実行委員会 (8/6 加藤)
- ・「公的介護保健導入に伴うNPO支援プロジェクト～市民による地域福祉の環境整備事業～」委員会/実施主体：住友生命社会福祉事業団、日本NPOセンター、大坂ボランティア協会・NPO推進センター、ひろしまNPOセンター、当センター (8/7 加藤)
- ・評価システム研究会/共同研究：NPO研修・情報センター、IHOE、コミュニティ・シンクタンク「評価みえ」、まちづく

り情報センターかながわ、地球環境パートナーシップオフィス、東京ボランティア・市民活動センター、当センター (7/2 紅邑 8/9 加藤)

■自治体関連

- ・アレマ隊交流パーティー/市 環境局廃棄物管理課 (6/29 加藤・紅邑)
- ・市民版環境ISOワーキンググループ/市 環境局環境計画課 (6/30 加藤・遠藤)
- ・北上市総合計画市民フォーラム/北上市 (7/8 紅邑・遠藤)
- ・環境学習リーダー養成講座/市 環境計画課 (7/9 加藤・遠藤)
- ・仙台市都市計画審議会/市 都市計画課 (7/7 紅邑)
- ・仙台市社会教育委員会 (7/11 紅邑)
- ・宮城県民間非営利活動促進検討委員会/県 生活・文化課 (7/13 紅邑)
- ・仙台市市民活動サポートセンター共同事務室審査会 (7/14 紅邑)
- ・「すすくすく市民ブッチャー養成講座」第1回講座/県教育委員会 生涯学習課 (7/15-16 紅邑・田中)
- ・市民シンポジウム 市民活動を活かしたまちづくり/国土庁 (7/22 加藤)
- ・角田市まちづくり市民プロデューサー講座/角田市役所 (7/25 加藤・遠藤・青木)
- ・アレマ隊員養成講座「ボイ捨てごみから、まちづくりを考える」環境教育プログラム講座 /市 環境局廃棄物管理課 (7/27 加藤・紅邑)
- ・市民版環境ISOモデル事業 ワーキンググループ/市 環境局環境計画課 (7/27 加藤・遠藤)
- ・環境教育・学習プラン策定ワーキンググループ/市 環境局環境計画課 (7/28 加藤・紅邑・遠藤)
- ・みやぎNPO活動企画コンペ/県 生活・文化課 (7/30 黒澤・高田・青木)
- ・クリーン仙台推進員グループ/市 リサイクル推進課 (8/1 加藤・安国)
- ・環境学習リーダー養成講座 第3回/仙台市 環境局環境計画課 (8/5 加藤・遠藤)

■取材・ヒアリング・相談

- ・白倉さん来訪 (6/24 紅邑)
- ・山邊さん相談 (6/24 遠藤)
- ・東北地建松川さん来訪 (6/26 加藤)
- ・河北新報社 藤田さん取材 (6/26 紅邑)
- ・クリオ今野さん取材 (6/26 紅邑)
- ・上田広域市民事業ネットワーク 畠中さん、一ノ瀬さん来訪 (6/29 加藤)
- ・日本スーパーシニアゴルフ協会 細谷さん相談 (6/30 青木)
- ・柴田町 鈴木さん相談 (7/4 青木)
- ・塩竈体協 成澤さん、小笠原さん来訪 (7/4 加藤)
- ・社会保険労務士 越智さん相談 (7/9 紅邑)
- ・経団連 長澤さん、住友海上火災保健(株) 山ノ川さん、日本NPOセンター 田尻さん来訪 (7/13 遠藤)
- ・宮城断酒連合会 鈴木さん、浅野さん来訪 (7/13)
- ・(財)内外学生センター 佐藤さん相談 (7/14 遠藤)
- ・県生活・文化課桜井さん、千葉さん相談 (7/25 加藤)
- ・ウォーター・ウォッチ・ネット 草島さん来訪 (7/25)
- ・東北経済連合会 小島さん来訪 (7/28)
- ・下村さん 来訪 (8/2 加藤)
- ・布川さん 相談 (8/1 紅邑 8/3 青木)
- ・片平たてもん 応援団 桜井さん 来訪 (8/3 遠藤)
- ・中央大学 広岡さん 来訪 (8/7 紅邑・青木)
- ・中央大学 広岡ゼミ生 18名ヒアリング (8/8 紅邑)
- ・日本財団 青柳さん 来訪 (8/8 加藤・紅邑)
- ・青森大学 谷川さん 来訪 (8/10)
- ・青森県庁 長尾さん 来訪 (8/10 加藤)



サポート・ご協力 ありがとうございます(敬称略)

- 平成12年度会員サマーキャンペーン効果か? 新規と昨年を上回る早さで継続のご入金が! (振込順、7/3~9/9)
(新規)鈴木信子、市川力、小玉順子、高橋幸夫、小島誠、生島ヒロシ、古川NPO支援センター運営委員会、田中智子、枝松芳枝、鈴木蒼郎、遠藤邦明、木村孝、三澤宏喜 (継続)小出淑郎、塩釜市体育協会宮野学、二階堂仁、遠藤幸枝、成田量、藤本岩男、安藤功、あかねグループ、佐藤範光、フリースクール森遊、青森アップル会、WACまごころサービスみやぎ、佐藤和夫、片倉玄、角田市アジアの農民と手をつなぐ会、佐元工務店、高橋秀行、有谷昭男、ユーメディア、早坂毅、鎌田さゆり、中村祥子、NALC宮城「けやきの会」、相澤耀司、NPOふくおか、広岡立美、天江文夫、プランニングネットワーク東北、菊地茂、吉田洋子、佐々木亨、パートナーシップ・サポートセンター、今田忠、伊勢武彦、荒井勝子、荒井正昭、日向則子、クリーンアップ蒲生、岡田真秀、大久保朝江、仙台市交通労働組合、古川生き活きまちづくり21委員会、菊澤調和、佐竹敬之、愛知純子、社の伝言板ゆるる、木村茂、鈴木亮一、ゆうあんどあい、ゆさみゆき、岡崎トミ子、模ひさ恵、高田幸詩郎、世古一穂、麦の会、伊藤寿郎、木幡勝幸、日本労働者協同組合連合会センター事業団東北事業本部、楠本雅弘、三好彰、津田新一、関口恵美子、東日本放送、仙台商工会議所、渡辺博之、愛媛リサイクル市民の会、ふくしま地域づくりの会、下河辺ちほこ、片平たてもの応援圏、宮城県断酒会、新川達郎、木村正樹、山田晴義、赤木弘喜、白川由利枝、ソキウスせんだい、長谷川公一、鈴木格、高清水ソフトウェアカンパニー、遊佐さゆり、高橋賢二、紅邑晶子
- 事務局ボランティアスタッフ 近頃、ジワジワとボランティアスタッフが増えています! (随時来訪 6/24~9/10)
緒方布美子、笠田篤郎、佐藤聡子、CILたすけつとの皆様、鈴木格、清藤真代(市民活動サポートセンター)、登坂宗太、本郷正武、吉田久美、峯岸弘至、宮城県断酒会の皆様、みやぎ地球市民すくすく計画2000のインターンシップの皆様(加藤泉、小南友里、渡辺茂)(五十音順)
- 企業協力 東北エココム(CCFサロンの会議室を無料提供)、岡元タイム(事務局スペースを社会貢献価格にて)、富士ゼロックス(カラーコピー機を社会貢献価格にて)

催しのご案内

- 介護系パワーアップ講座
日時: 9月15日(金)~16日(土)
会費: 3,000円
開場: SS30住友生命仙台中央ビル7F第2会議室
講師: 早瀬昇氏 大阪ボランティア協会事務局長
石川治江氏 ケアセンターやわらぎ事務局長、他
- NPO法人化講座
日時: 9月28日(木) 18時30分~21時30分まで
参加費: 3,000円、会員2,500円
- セナードサロン
テーマ: 企業とのつきあい方
日時: 10月16日(月) 19時~ 参加費: 500円
場所: 市民活動サポートセンター 研修室1
- 評価でNPOの元気をつくる パート3
日時: 10月7日(土) 10時~16時
参加費: 3,000円
問い合わせ 042-359-8605 世古さん
045-212-5835 土屋さん
- 「仮称/環境教育・学習プラン」策定のための市民ワークショップ
コーディネイト・せんだい・みやぎNPOセンター
日時: 9月23日(土) 13時~ 参加費: 無料
会場: 太白区区役所5階ホール 定員: 30名

せんだい・みやぎNPOセンター

〒980-0804 仙台市青葉区大町2-6-27 岡元ビル4F
tel 022-264-1281 fax 022-264-1209
E-mail minmin@jca.ax.apc.org
http://www5a.biglobe.ne.jp/~minminHP/
大好評! ホームページ! 更新中!

会員の方へ

- 入会申込書の書き換えのお願い
当センターでは昨年法人化に伴い、会員の皆様のニーズを知りサービスに生かしていくために、入会申込書の書き換えをお願いしております。入会申込み書が同封されましたら、書き込みの上、FAXが郵送でお送り下さい。
- E-mailを教えてください。
様々な情報の受発信で、今後E-mailを活用したいと考えています。アドレスをお持ちの方は「minmin@jca.ax.apc.org」までメールをいただけますでしょうか。個別にニーズにあった情報をお送りできるようにしたいと考えています。
- FAX番号を教えてください。
大切な情報を素早く会員の方に手軽に送るために「FAXみんな」をお送りしています。前は持ちでなかった方、FAXみんなが届いていない方、ぜひお知らせください。

岡元ビル4F 仙台駅から徒歩15~20分



みんな編集後記

■うれしいことに、ボランティアスタッフが急増中。女子大生から70代の男性まで世代もいろいろ。「そのうち、ボラレンとかあつたりして」と青木さん。「!?」。ボランティア恋愛のことだった。なるほど。(紅邑) ■冗談じゃないっ! 某自動車メーカーのリコール隠し事件。何を隠そう私の愛車はこの会社の生まれで、でも幸いリコール対象にはあらず。でもリコールを20年隠し通すのは元より論外としても、20年間気づかなかった監督省庁もかなり間抜け。妙なところで市民のチェック行動の大切さを実感してしまった。(工藤) ■山形のNPOの方々と事務局合宿をしよう!と盛り上がっている。誰も慰労してくれないのでお互いにやろう、という少々寂しい動機だが集まって飲んでしまえばこっちのもの。で、おすすめ温泉宿でいい所があったら情報お待ちしてます。(遠藤)

●みんな編集部にご感想を! あつとそれから、秋の海・山の幸差し入れ大歓迎です。お待ちしております。